

Vol. 42, September, 2015

AI 通信

Atami association for International interchange

発行：熱海国際交流協会

熱海市中央町1番1号

熱海市教育委員会生涯学習課内

(第2庁舎2階)

TEL (0557) 86-6233

FAX (0557) 86-6606

E-mail kokusai@atami-ai.jp

URL <http://atami-ai.jp>



国際理解講座第1回

「インドネシアとイスラム文化を知ろう！」

講師：ウェニーさん(左)

ウィーズさん(右)



世界文化遺産 ボロブドゥール寺院遺跡群

小学生国際理解講座「世界の楽器を知ろう！」



泉公民館・南熱海支所にて開催

平成 27 年度 熱海国際交流協会 理事会・総会 2015/5/28



平成 27 年度 総会の模様

熱海市役所第 3 庁舎会議室において、平成 27 年度理事会・総会を開催しました。ご多忙中にもかかわらず約 50 名の方にご出席いただきありがとうございました。

本年は、役員改選の年に当たりますが、会長・役員共に留任ということになりました。

始めに会長から事業内容の説明と、国際支援・国際交流を図っていききたいとの挨拶があり、齊藤市長からは、世界を知ること熱海を良くすることに繋がる、熱海を「国際観光温泉文化都市」とするべく努力するとお話があり、議事は滞りなく進み、外国人客が増える中で予算に対する質問などが上がりました。

総会の終わりに、小山内顧問へこの度のネパール地震に対して、当協会からの義援金と熱海市 P T A 協議会からの募金箱の贈呈を行いました。その時の小山内顧問の御礼の言葉の一部をご紹介します。

「JHP はカンボジアに熱海からの学校も建てました。世の中、教育ほど大切なものではなく、15 年前ネパールの友人からネパールにも学校をつくってもらえないかと言われましたが、政情不安定な所では取り壊される恐れもあり、政情が安定したらと言いました。

それから 15 年後、ネパールへ行きましたが、カンボジアよりもっと貧しく、人々の気持ちは素朴で、村の人々が学校経営に熱心に関わっているのが分かったので学校を建設し贈呈しましたが、私たちのつくった 6 棟の学校は、今回の地震の震源地からは遠く、ネパールが一番東の端でビクともしませんでした。この地域では建材に日干しレンガを使うのですが、地震が来たときにいかにもろいか。この日干しレンガを作るのが子どもの仕事で、児童労働という問題もあり、私たちは焼きレンガを使ったことがビクともしない理由だったのでしょうか。この地震のあとすぐに事務局長の中込が現地入りしたので、今後の修復計画を知ることができました。このようなこともご協力くださる皆様と一緒に歩んでいけるのは幸せです。心より御礼申し上げます。必ずネパールでお役にたてるよう使わせてもらいます。」と結ばれました。その他、東日本大震災の支援から、伊豆の桜を植える取り組みなど多岐に渡るボランティア活動のお話がありました。A I のスローガン「できることからはじめよう」の思いを新たにまた 1 年が始まります。皆様のご協力をお願いいたします。

(事業スタッフ 小林春子)



ネパール地震義援金を竹内会長より小山内顧問へ贈呈

～JHP・学校をつくる会より「ネパール大震災支援活動の報告」～

東日本大震災から 4 年が経過。南三陸で第 6 回目の桜植樹が行われていた 4 月 25 日午後、大地震の一報が入りました。JHP が学校建設で提携しているガナシャム記念財団メンバーのプラティバさんと連絡が取れたのが翌 26 日午後でした。彼女は「ラルパテネパール」という NGO の代表として、教育や障がい児をケアする活動を行っており、4 月 28 日から事務所周辺の調査や食料配布などの活動を開始したことを知り、JHP はその活動をサポートすることを決めました。

5月4日、急きょ現地活動の視察のためにカトマンズに向けて出発。5月8日まで被災地域を訪問しました。どの地域も、レンガや石造り、土壁の民家が倒壊・一部損壊している状況で、外観は大丈夫そうな家も、よく見ると壁に亀裂が入っていたり、傾いていたりと危険な状況でした。中でも、市内から車で約1時間の所にあるランポート村の被害状況がひどく、ある女性は、出稼ぎで男手が無いため片付けができないと話していました。訪問先では、米、塩、油、お茶、砂糖、豆、香辛料などのパッケージ、食パンやお菓子等のおやつ、石鹸や歯ブラシなどの生活用品を配布。私も日本から30kgの制限一杯まで積み込んだシートなどを配布しました。



支援物資を配布



ランポート村被害状況

下・左の写真の男性は、3メートル程下の畑に間一髪でジャンプして難を逃れたそうです。しかし、山の下に住む妹とその2人の子どもが食事中に下敷きになり亡くなったと話してくれました。生き延びた旦那さんは喪に服しながら厳しい生活をしていると聞き、持ち込んだシートを渡してもらおうようお願いしました。彼の家も住める状態ではなく、屋根のトタンを取って仮設住居を作りたいが、危ないのでまだ手をつけられないと話していました。



シートを配布



倒壊したレンガ作りの家

周辺国を含めて犠牲者は約8,900人にも及んでいます。帰国後、JHPには約160万円の支援金が集まり、ラルパテネパールの活動を側面的に支援していますが、今後はカトマンズ市内のシタラ学校の子どもたちへ文具、食料、生活用品の支援を行う計画を立てています。生徒は低収入の家庭出身で、大部分の親は日雇いの出稼ぎ労働をしています。十分な貯金も無く、農村地域に住む親戚も被害を受けたため食材の仕送りも途絶えている状況と聞きました。この学校は3階部分の教室が使えないため仮設校舎を建設しています。JHP支援は学校側のスケジュールに合わせて順次実施していきます。

東日本大震災と同様に、復興には時間がかかります。海外にいる私たちができることは小さいかもしれませんが、熱海の皆さまの温かいお気持ちにも応えられるように、今後も支援を進めて参ります。



仮設校舎

団体会員紹介 熱海市PTA協議会様

「国際交流協会 AI 通信によせて」

熱海市PTA協議会 会長 山田 浩



熱海市PTA協議会は、熱海市内各校PTA相互の連絡を緊密にするとともに、PTAの健全な発展を推進し、教育の振興と児童・生徒の健全な育成を目的に活動しています。小・中学校（10校）のPTAの集合体で、各学校のPTA会長と5つの専門委員会の委員長で組織されています。毎月一度、定例会を開催し、各学校の問題点や近況報告、委員会の進捗状況など、その時の議題に沿って会議を行っています。今年度は熱海から静岡県PTA連絡協議会会長と副会長を輩出しており、来年度は熱海で1,000人規模の研究大会を実施する予定です。

近年の子供たちを取り巻く環境に目を向けると、家族形態の多様化や地域社会のつながりの希薄化、家庭教育力の低下などが指摘されています。今までには考えられなかった新しい問題が次々に発生し、様々な問題を抱える家庭が増えています。このような状況下において、熱海市PTA協議会では、昨年度「児童・生徒の携帯電話、スマホの安全な使用に関するお願い」を各家庭に呼びかけ、実態を調査し、携帯・スマホに関するあらゆる事項に取り組みました。さらに今年度は、「親力」「家庭教育力」を高め、静岡県が掲げる「有徳の人」の育成に向け、文・武・芸の三道鼎立（ていりつ）すなわち学習（文）・スポーツ（武）・芸術（芸）を推進し、子供たちの心や情操に関わる徳育、美育、食育等に取り組んで参ります。家庭・学校・地域の絆を強め、「地域とともにある学校」を目指し、よりよい地域コミュニティの発展に尽力していきたいと考えています。

熱海市PTA協議会は、地域の発展に尽力する諸団体とも連携を図っています。先日は熱海国際交流協会主催のネパール地震の義援金に協力をさせていただきました。今後も地域発展のために交流を深めていきたいと思ひます。また、熱海市PTA協議会を管轄する熱海市教育委員会生涯学習課では、今年度「公民館寺子屋」という事業を夏休み・冬休みの午前中を利用して合計10回、市内4会場を実施します。内容は、宿題や料理教室、郷土の歴史学習など多岐にわたる学習で、熱海国際交流協会でも「公民館寺子屋」の中で、小学生国際理解講座として音楽の教室を行うと伺っています。楽しい講座となることを期待しています。



熱海市PTA協議会山田会長より
小山内顧問へ募金箱の贈呈

「ネパール地震」義援金についてご報告

4月25日に発生しましたネパール地震で被災した人々への救援のため、皆様からお寄せいただきました義援金は総額151,203円となりました。また、熱海市PTA協議会では、手作りの募金箱を作ってご協力いただきました。PTA協議会が集めた募金は総会の中で山田会長から小山内顧問へ手渡されました。

これらの義援金は、「JHP・学校をつくる会」を通じてネパールの震災復興や子どもたちの教育支援のために役立てられます。たくさんの方々のご理解ご協力をいただきまして、まことにありがとうございました。

小学生国際理解講座 2015/7/27・30

「世界の楽器を知ろう！」

寺子屋に今年も小学生気分に参加、私にとって打楽器に触れる夏のひと時です。前半は体験の時間。打楽器がいっぱい並べられ、どんな音をするのか触ってみたいくなるものばかり！例えば、山羊の爪をいっぱい束ねた“チャフチャフ”は、振ると羊が雑草を探して岩間を蹴って駆ける様を連想させます。私たちの遠い先祖は、その音で誘き寄せ狩りをし、命をつないだのでしょうか？箱型の楽器“カホン”は、箱とか引き出しの意味で、アフリカから連れてこられた黒人たちが仕事の合間に木箱などを叩いてリズムを取ったのが始まりと言われています。カホンに座って叩くとその振動が伝わり自分が楽器になったよう、体がリズムを覚える瞬間です。後半は楽曲「テキーラ」をピアノとトランペットと共に全員で合奏、温もりの響きが耳に残りました。ダンス愛好家の私としては、やはりステップを踏んでの参加！せっかくの機会でもあったので“チャチャチャ”のステップと“ルンバウォーク”の歴史を紹介させていただきました。また、昨年に引き続き打楽器奏者の成瀬さんの分かり易い教え方が印象的で、子どもたちもいつもと違う音や響きに出会い、いろいろな表情を見せてくれました。

最後に、打楽器“それは人類が生き抜くために自らの手で作り出したパートナーとも呼べる必需品”。その素朴な音色と振動に民俗の力を感じた貴重な体験でした。ありがとうございました。（事業スタッフ 小澤裕子）



楽器を叩いてみよう！泉公民館



チャチャチャ！泉公民館



みんなで演奏！南熱海支所

今年も講師に成瀬紀子さんをお迎えし、生涯学習課「公民館寺子屋」の中で開催いたしました。泉公民館では事業スタッフの小澤裕子さんにダンスのステップを教えていただきました。

7月27日（月）・・・泉公民館 参加児童 13人 7月30日（木）・・・南熱海支所 参加児童 25人

国際支援活動

「アフリカへ毛布をおくる運動」の結果報告

- ・ A1毛布募集期間 平成27年4月10日（金）～5月20日（水）
- ・ 収集毛布 48枚 ・ 海外輸送費（寄付金）8,000円

アフリカへ毛布をおくる運動推進委員会を通じアフリカ諸国の人々へ届けられます。ご協力ありがとうございました。



ご自宅に不要なメガネはありませんか？

～スリランカへ眼鏡をおくろう！～

平成7年から運動を始め、これまでに約6,400個の眼鏡をスリランカの人々へ届けました。今年度中にスリランカへ送るためにはあと100個の眼鏡が必要です。ご不要になりました眼鏡がございましたらぜひ熱海国際交流協会、もしくは誓欣院へお届け下さるようお願い致します。（遠視・近視・サングラスなど種類は問いません。きれいに洗ってくださるようお願い致します。）



「インドネシアとイスラム文化を知ろう！」

8月2日、27年度 第1回 国際理解講座がいきいきプラザで開催され、23名の方にご参加いただきました。講師は、静岡県立大学の国際関係学部と経営情報学部に在席している二人のインドネシア人ウェニーさんとウィーズさんです。

「スラマペーア」（こんにちは）の挨拶から始まり、国の特色、暮らし、宗教等の話や家庭の外では夫以外の男性から視線を守るために被る布「ヒジャブ」の体験やインドネシア式じゃんけんも体験しました。最後にウィーズさんとウェニーさんが、それぞれインドネシアの音楽に合わせて踊りを披露してくださいました。（事業スタッフ 井沢頼子）



インドネシア式じゃんけん！

講師のお二人に感想を書いて頂きました。（お二人の言葉をそのまま掲載しました。）

～「インドネシアとイスラム文化を知ろう！」の講師をしてみても～

日本にいる間にまた良い思い出ができました。それは熱海国際交流協会の皆様と講座のお客様と会ったことです。私たちにとって、これは初めての発表なのに皆さんのお陰で、インドネシアについてとイスラム教のことを説明することができました。皆が来てくれたり、質問してくれたり、私たちの踊りも見てくれたことはとても嬉しいことでした。講座のことだけでなく、一緒にお昼を食べながら、スタッフの皆様とゆっくり話したりすることも良かったです。

皆様は、まだまだイスラム教のことを知らなかったこともあったようで、たくさんの質問していただいたり、ときどき思いも寄らない質問もでたり、楽しかったです。私たちの説明は完璧ではなかったけれど、ちゃんと聞いていただいて感謝しています。



私が民族舞踊を披露していた時に着ていた衣装は皿踊りの衣装です。頭の上にあった2つの「角」は本当のバッファローの角を表します。昔、ミナン人とジャワ人は土地のために戦って、そしてバッファローを使って、どちらのバッファローが強いかでその土地を持つことができました。その時、ミナン人のバッファローが勝って、衣装の頭にある角はミナン人の強さを表します。

講座の後、起雲閣を案内していただきました。素敵なおところで、歴史を持っている建物です。いつか友達も連れて行き、熱海はこんなにいい街ですよ、と言おうと思います。また、皆様に会う機会があるように祈っています。いい経験を、ありがとうございました。

（ウェニー・ベリアロシ）



熱海国際交流協会のイベントへ誘ってくださって本当にありがとうございました。私にとって、このイベントは素晴らしい経験になりました。皆さんの前で、インドネシアとイスラム文化について話しをさせていただいて大変嬉しく思います。皆さんと出会って良かったです。今回は、ヒジャブの巻き方を参加者の方に教えたのですが、何種類か巻き方があります。一種類



事業スタッフの
土屋さんが
ヒジャブ体験！





しか教えることができませんでしたが楽しかったです。

私が民族舞踊の時に着ていた服は「ケバヤ」という服で、特別な日だけ着ます。例えば、卒業式とか結婚式です。

私は、来年2月に経営情報イノベーション学科の大学院の試験を受け、もっと日本の経営を学びたいと思っています。将来的に家族の会社でお父さんの代わりに社長になりたいと思います。立派な社長になれるように一生懸命がんばっています。

最後に、参加者やスタッフの皆さんと一緒にお話しをしたり、熱海を訪れることができ楽しかったです。次はお友達を連れていきたいと思っています。本当にありがとうございました。いつか、又会いましょう！

(ウィーズ・コマワラティ)



外国籍住民のための防災講座

AI では毎年外国籍住民のための防災講座を開いています。昨年度の講座（平成 27 年 3 月 13 日開催）では 2 名の中国人留学生が参加してくれました。熱海で想定される自然災害、1. 地震、2. 津波、3. 土砂災害について危機管理課の土屋室長からお話しを伺いました。その中から、毎年災害が予想される土砂災害についてまとめました。



防災講座の様子

<土砂災害について>

昨年 10 月の台風 18 号の時に、多賀中学校で発生した土砂崩れは「土砂災害警戒情報」の発表後、2 時間ほどで起こりました。この「土砂災害警戒情報」を基に熱海市では市内全域に初めての避難勧告を発令しています。

「土砂災害警戒情報」は降雨による土砂災害の危険が高まった時に、市町村長が避難勧告等を発令する際の判断や、みなさんの自主的な避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表している情報です。この「土砂災害警戒情報」は「大雨警報」のあとに発表されるものです。土砂災害は予測の難しい災害ですが、「土砂災害警戒情報」が発表されましたら、いつでも行動できるよう心構えをしましょう。また、危険を感じたら、行政からの指示を待つことなく、自主的に安全な場所へ避難することも重要です。土砂災害は、中にたくさんの雨が貯まったところに強い雨が降ると、発生しやすくなるという特徴があります。1 時間に 30～50mm 以上の雨を予報用語では「激しい雨」と表現します。土砂災害が起こりやすくなる雨量であることを知っておいてください。

平成 16 年の台風 22 号の時には、網代で最大瞬間風速 63.3m を観測しました。この風は、気象庁の歴代全国ランキングで 19 位の記録です。初島では風速 60m まで耐えることのできる防災行政無線のポールが倒れています。予報用語では秒速 25～30m の風を「非常に強い風」と表現しますが、これ以上の風では、立っていることは難しく、屋外での行動は危険となることも知っておいてください。

『避難とは身の安全を確保し、命を守ることです。』『土砂災害警戒情報』のあとに発表される「大雨特別警報」が発表されてからの避難はかえって危険です。「垂直避難」といいますが、頑丈な建物で、崖から離れた上階に避難することも有効です。

災害から命を守るには、『生き残るために何をすべきかを考え実行する』ことが重要となります。

市内の外国籍住民の数は 354人です

2015. 7. 31 現在

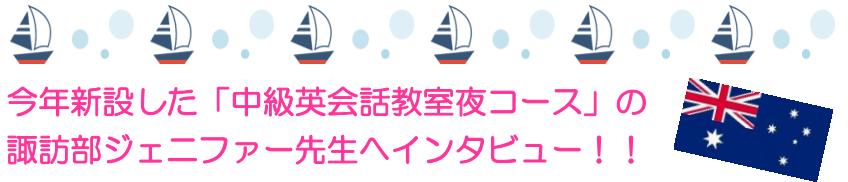
1	中国	94 人
2	韓国・北朝鮮	85 人
3	フィリピン	63 人
4	ブラジル	26 人
5	台湾	18 人
6	アメリカ合衆国	14 人
7	ペルー	10 人
8	ベトナム	6 人
9	オーストラリア	5 人
	カナダ	5 人
	タイ	5 人
人数がそれ以下の国の計		23 人



シドニー・オペラハウス



中級英会話教室夜コースの様子



今年新設した「中級英会話教室夜コース」の 諏訪部ジェニファー先生へインタビュー！！

先生の生まれたオーストラリアや

中級クラスなどについて聞いてみました。

Q.オーストラリアの魅力はどんなところ？

A.自然がいっぱいで、国が若いところかな。

いろんな国から移民が集まっているので、
文化も入り混じっていて面白いと思う。

Q.オーストラリアでおすすめの場所は？

諏訪部ジェニファー先生

A.シドニー。オペラハウスや、シドニーハーバーブリッジが素敵。

日本語が通じるところが多いので、是非、一度行ってみたい。

Q.はじめて日本に来たのは何歳のときですか？

A.23 歳。旅行で来たのが始めて。お正月に来て、すごく寒かった。

2 回目に来日したとき、初めて雪を見て感動した！

Q.どうして英語教師になったのですか？

A.オーストラリアはアジアからの移民も多く、両親が英語を話せない家庭もあって、大学とき、移民の人が困っているのを見て、英語を教えてあげたり、マレーシアの人と友達になって助けてあげたりしたのがスタート。フランス語・ドイツ語の他に日本語を大学で勉強し、言葉が好きで教えるのが好きだと気づいた。

Q.中級クラスをやってみていかがですか？

A.最初のレッスンでどういうことをやりたいか、何のためにやりたいか聞いたところ、観光で来ている外国人を助けたい。オリンピックに向けてコミュニケーションを取りたいとの話があり、クラスのスローガンを「シンプルイズベスト」に決め、長い説明はいらないからシンプルに伝えることを心掛けて教えている。

Q.英語を身につけるためのポイントは？

A.どんどん使うこと！完璧な発音でなくても大丈夫。間違えてもいいから、コミュニケーションをするのが一番。

Q.オススメ海外ドラマはありますか？

A.好きなのはアメリカの『ホワイトカラー』面白い！

～天才詐欺師が、自由と引き換えに犯罪者ならではの知識と経験を駆使してニューヨークにまん延する知的犯罪を FBI 捜査官と解決していくもの。皆さんの中にもファンがいるかも？！～

先生は大学に入って日本語を勉強して、日本に興味を持ったそうです。日本に来られて 19 年。日本人の旦那様とかわいいお子さんに恵まれて幸せな家庭を築いていらっしゃいます。言葉が好きで教えることが大好きなジェニファー先生。これからもよろしくお願いいたします。（事務局）

